

秋を感じながら 心も体ものびのびと

秋の心地よい風を感じながら、思いきり体を動かし元気いっぱい遊ぶ子どもたち。友達と相談しながらリレーを始める年長児や、その姿に憧れ真似て走ったり跳ったりする年少・年中児の姿があります。

また、季節の移り変わりを感じながら、「ダンゴムシがおらんようになった」「大きなバッタ見つけた!」「トンボどうやったら捕まるかな?」と空高く飛ぶトンボを捕まえようと今までの経験を生かし、試行錯誤する姿も見られます。

子どもたちは遊びを通して様々なことを学びます。友達と関わりながら心と体を動かし、やってみようとする意欲をもって、たくさんの楽しさや驚きを味わってほしいと思います。



いいのやま福祉会 野の花

コロナ禍の影響で、昨年の5月以降、長らく休止していた第2土曜開所日を、9月から再開しました。

多機能型事業所では創作活動第一弾として、午前中は、キットパスという新しいクレパスを使った色紙制作、午後はフラワーアレンジメントというプログラム。

土曜開所日というと、今までは、普段の仕事から離れて、映画や買い物等を楽しむ外出活動が中心でした。しかし、コロナ禍で外出もままならず、創作



活動にチャレンジし、芸術の秋満開の一日となりました。

平日の曇り気とは違い、ドキドキワクワク感があふれた日をそれぞれが過ごしました。どの作品も個性に溢れていて素晴らしい仕上がりがでした。



香川県 ふじみ園

ふじみ園では、ふじみ園前の幹線道路（さわやかロード）の清掃活動を年に4回行っています。

利用者さんと支援員が協力して行う、ふじみ園の恒例行事となっており、10月27日に行い、草抜きやごみ拾いを行いました。

普段はこの道路を園外ハイク時などで利用しており、利用者さんたちにとっても馴染み深い場所となっています。自分たちがいつも使っている道路をきれいにするということで、皆さん熱心に取り組まれています。この行事を楽しみにしている利用者さんも多く、清掃活動後は道路がとてもきれいになり、利用者さんの顔には良い表情が見られています。

利用者さんあってのこの活動。これからも支援員と利用者さん一丸となって地域に貢献したいと思います。

